

平成 10 年度の脳神経外科活動状況

脳神経外科医長 山 本 和 秀

名寄市立総合病院に平成 4 年 6 月に脳神経外科が開設して以来 7 年が経過しました。入院、手術件数ともに上昇し初期の目標はほぼ達成されたように思われます。平成 11 年 4 月からはベット数が 27 床と増えそれに伴って外来、入院患者数、検査数も増えることが予想されます。今後のさらなる発展のためスタッフ皆様の御協力をお願い申し上げます。

人 事

平成 10 年度の脳神経外科医師の異動では 4 月より中井啓文医長が大学に戻り、佐古和廣が副院長兼医長で赴任しました。10 月から山本和秀が医長に就任しました。医員は 4 月に窪田貴倫から

大浅貴朗にかわり、以前と同じ 3 人の診療体制です。

診 療

今年度の外来新規登録患者数は 1549 名で入院患者数は 350 名でありました。昨年度よりも多少減少していますが、これは 10 月より枝幸に脳神経外科サテライトクリニックを開始したことが影響しているかもしれません。しかし再来患者を含めた延べ患者数は増加しました。入院については 19 床のベット数のため空床利用をして診療をやりくりしてきました。まだまだ入院予約の患者さんがいる状態であり、4 月よりベット数が増えることでこの問題は少し解消されると思われます。

	平成 4 年	平成 5 年	平成 6 年	平成 7 年	平成 8 年	平成 9 年	平成 10 年
新規登録数	974	1656	1678	1548	1637	1683	1549
入院新患数	143	274	295	268	307	375	350
死亡	19	22	27	31	22	21	15
手術件数	60	150	114	109	114	171	149

表にも示しますように治療の甲斐なく亡くなられた患者さんは 15 名で内 2 例は剖検を行いました。

手術件数は 149 件でありました。全身麻酔下手術件数は 121 件で、局所麻酔下での手術は 28 件でありました。その内訳は、脳動脈瘤クリッピング術 31 件（ラッピング術を含む。未破裂 4 件）、脳動静脈奇形摘出術 1 件、脳腫瘍摘出術 14 件（髄

膜腫、聴神経鞘腫、頭蓋咽頭腫、転移性脳腫瘍）、開頭血腫除去術 18 件（高血圧性脳出血 9 件、外傷性頭蓋内血腫 9 件）、頸部内頸動脈血栓内膜摘出術 3 件、浅側頭動脈－中大脳動脈吻合術 1 件、脳室－腹腔シャント術 10 件、慢性硬膜下血腫穿頭血腫洗浄術 25 件、頸椎前方固定術 1 件などでありました。